1. 最終報告アジェンダ SAM_Tapir







OBILITY EUJFA

最終提出アプリ(Rock-Paper-Scissors)について

制作アプリのお披露目。

40秒

アプリ制作に向けた、考え方について。

50秒

くふう点と、身についた事。 3)

50秒

今後のに向けて。

40秒

発表者: SAM Tapir (Susumu Hiraishi)

※ Tapirとは、動物の「獏」のことであり、今回の演習で出てきた ナイトメアを食べてしまおう!という意気込みで付けました。

実際は、まだ全部、食べ切れてませんが、、、 そこは内緒!



2. 教えて頂いた事を使う!







モビリティ ツーリング部

アプリ作成に向けた、心構え。

ルールが解りやすい、じゃんけんゲームの製作を行うことで下記の条件を満たすように進めました。

- 1) 配列、オブジェクト、判定、ループ処理、アロー関数 等を実施
- 2) JSDocをしつかり書く、疑似コードを書く
- 3) **関数シグネチャを考えた後**、コードを実装する。
- 4) コードスタイルに気を付ける。 シンプルに書く。
- 5) 説明がなくても、**使えるアプリを考えて実装**してみる。

3. 工夫した点 - 1







モビリティ ツーリング部

・ファイル呼び出し方法の工夫 オブジェ化

```
let imgObj = {
    "normal": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836136-4c996eec-7530-45fc-a7e9-a89eddb39182.gif",
    "roc": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836167-28d67f1b-06e3-434f-9507-2d674dc9749a.png",
    "paper": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836205-7422cab8-4c93-4a0b-8ed5-2f444066fba0.png",
    "scissors": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836219-b6955c09-3117-4131-9988-9fb78fa39488.png",
    "draw": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836233-6bb86bad-a80b-4505-9fe2-2d1e46f6038b.png",
    "boxWin": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836253-01a4b9e6-1d71-41c6-b0f3-d730c16ee3ff.gif",
    "boxLose": "https://user-images.githubusercontent.com/115196019/206836263-57e1de43-1c4d-4f69-b5bf-4ab6bbf86e60.gif",
};
```

·JSDocの実装

```
/**

* i m g部にイメージをセットする関数

* @param {img} imgName - シュチュエーション名

* @returns イメージのの書き換え

*/
function chengImage(imgName) {
   const imgData = imgObj[imgName];
   // window.alert(imgData)
   document.getElementById("img").src = imgData;
}
```

```
function chengImage(imgName: img): void

i m g 部にイメージをセットする関数

@param imgName — シュチュエーション名

if
@returns — イメージのの書き換え

chengImage("boxWin");
} else if (count === 0) {
// window.alert("コンピューターの勝ち");
chengImage("boxMaoh");
```

VSCodeの便利機能



3. 工夫した点 - 2







OOLING WILLS

見やすい**全体構成と配置**



・タイミングを変えたかったがJavaScriptに、 sleep機能がなかったので、自分で実装

```
* 指定した秒数 (ms) 止まる関数
* @param {number} num - 待ち時間 (ms
                      Date関数で、現在の時間を
* @returns ---
                    読み取り続け、最初に取得し
function sleep(num) {
const d1 = new Date();
                    た時間と比較して、その時間
while (true) {
                    内は、何もしない関数
 const d2 = new Date();
 if (d2 - d1 > num) {
   break;
         教えてもらった知識で解決
```

・動画を入れたかったので、gifファイルを作成



gifファイルの仕組みと作り方もGet











大事な事は、続けること!

今までは、独学で勉強して、一人でプログラムを作ってきました。

現場では、作ったものが**要件に合っていて動けば良い**ので、そのあとのメンテナンスなど考えていませんでした。

(その為、作ったツールは、<mark>誰もメンテナンスする事が出来ません</mark>。)

基礎講座に参加して、<mark>プログラムを書く上での基本</mark>を、<u>少し学ぶことが出来</u>たと思います。

/ また、<u>ペアで補い合う事で</u>、コードのコピーにならない、内容を十分理解した状態で、使える<mark>知識を増やす事</mark>が出来ました。

まだまだ、知識も技能も足らないので、<u>今後もしっかりと学んでいきたい</u>と 思います。

ブートキャンプに行きたい思いが更に強くなりました。











png.gifファイル一覧













box2.png







paper.png

normal2.png





maoh.png





全負け.png



create by greenlabel (Non) **XLineCreatersName**